授業科目等の概要																	
（医歯薬専門課程　歯科衛生士学科午前部）令和6年度																	
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	実務教員による授業
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
○			生物・化学	一般生物学、一般化学の基礎的事項を習得し、解剖・組織発生・生理学・栄養学・生化学の学習へつなげる。	1前	15	1	○			○			○		○
○			キャリアデザイン	卒業後の将来像を明確にし、学ぶ姿勢を身につける。	1前	15	1		○		○		○			○
○			情報処理	歯科衛生研究発表を実施するに必要なPCを使用してのデータ解析やプレゼンテーション・抄録作成方法を習得する。	1前	15	1	○			○			○		○
○			心理学	医療における人の行動の全人的理解の基礎の習得を目的とする。	2後	15	1	○			○			○		
○			医療倫理	医療人として必要な倫理観について理解する。	2後	15	1	○			○			○		○
○			コミュニケーションスキルアップ検定	医療従事者に必要な自律型行動力、ストレスマネジメント力、アサーティブなコミュニケーション法、ストレス対処法を習得する。	1前	30	2	○			○			○		○
○			一般教養	歯科医学を学ぶ基礎となる文章読解能力、基礎計算力について身に付ける。	1前	30	2	○			○		○			○
○			歯科英語	歯科に関係する単語を中心に患者とコミュニケーションが取れる力を身につける。	2前	15	1	○			○			○		
○			解剖学	人体の構造について理解する。	1前	30	2	○			○			○		○
○			生理学	人体の諸機能について理解する。	1前	15	1	○			○			○		○

○			栄養生化学	歯を中心とした口腔の主要な生化学的変化について理解する。	1前	30	2	○			○			○		
○			歯牙解剖	一般的な歯や歯列の形態を十分に理解し、臨床的に汎用できる知識の習得する。	1前	15	1	○			○			○		○
○			口腔解剖学	顎・顔面・口腔領域の組織や器官の構造と機能について理解する。	1後	30	2	○			○			○		○
○			口腔生理学	人体および口腔の諸機能について理解する。	1前	15	1	○			○			○		○
○			病理学・口腔病理学	全身や口腔領域に発生する病変の原因や発生機序について理解する。	1後	30	2	○			○			○		○
○			薬理学・歯科薬理学	薬物の薬理作用を理解し、薬物を安全かつ効果的に使用するために必要な知識を理解する。	1後	30	2	○			○			○		○
○			微生物学・口腔微生物学	微生物の基礎知識およびそれらによって引き起こされる歯科領域の疾患について理解する。	1後	30	2	○			○			○		○
○			口腔衛生学Ⅰ	口腔衛生の意義、歯口清掃、う蝕の予防、歯周疾患の予防について理解する。	1後	30	2	○			○			○		○
○			口腔衛生学Ⅱ	口腔衛生の意義、歯口清掃、う蝕の予防、歯周疾患の予防について理解する。	2前	30	2	○			○			○		○
○			衛生統計	社会ニーズに応じた保健情報の考え方と収集法、保健衛生に関する統計の知識を習得する。	2前	15	1	○			○			○		○
○			衛生学・公衆衛生学	衛生・公衆衛生の意味や意義、健康の概念や予防の考え方などを身につける。	2後	30	2	○			○			○		○
○			衛生行政	歯科衛生士として業務に就くにあたり必要な知識を理解する。	3前	15	1	○			○			○		
○			社会福祉学	社会保障制度や社会保険のしくみについて理解する。	3前	15	1	○			○			○		
○			歯科臨床概論	歯科臨床のシステムや診療の流れを学び、歯科衛生士の役割を理解する。	1後	15	1	○			○			○		○

○			歯科衛生士概論	歯科衛生士の歴史や役割、心構えについて学び、歯科衛生士の意義を理解する。	1前	15	1	○			○		○			○
○			保存修復学	歯の硬組織疾患の修復について理解する。	2前	15	1	○			○			○		○
○			歯内療法学	歯の内部やその周囲における疾患の治療方法について理解する	2前	15	1	○			○			○		○
○			歯周治療学	歯周治療における歯科衛生士の役割を理解し、的確な判断力と正確な技術を身につける。	2後	15	1	○			○			○		○
○			歯科補綴学	歯科補綴治療の流れを理解し、さらに歯科技工との関連について理解する。	2前	30	2	○			○			○		○
○			口腔外科学	口腔外科領域の疾患について理解する。	2前	30	2	○			○			○		○
○			小児歯科学	小児の特性を理解し、小児歯科治療の流れを理解する。	2後	30	2	○			○			○		○
○			矯正歯科学	矯正歯科学の基礎知識を理解し、矯正治療の流れを習得する。	2前	15	1	○			○			○		○
○			障がい者歯科学	障害者の特性を理解したうえで、障害者歯科治療の実際を理解する。	2後	15	1	○			○			○		○
○			高齢者歯科学	高齢者の特性を理解したうえで、高齢者歯科治療の実際を理解する。	2後	15	1	○			○			○		○
○			歯科予防処置論Ⅰ	歯科予防処置に必要な基礎知識および予防的歯石除去の方法について理解する。	1前	15	1		○		○		○			○
○			歯科予防処置論Ⅱ	歯科予防処置に必要な知識と技術を習得する。	1前	30	2		○		○		○			○
○			歯科予防処置論Ⅲ	歯科予防処置に必要な知識と技術を習得する。	1後	30	2		○		○		○			○
○			歯科予防処置論Ⅳ	歯科予防処置に必要な知識と技術を習得する。	1後	30	2		○		○		○			○

○			歯科予防処置論Ⅴ	歯科予防処置に必要な知識と技術を習得する。	2前	30	2		○		○		○			○
○			歯科予防処置Ⅵ	歯科予防処置に必要な知識と技術を習得する。	2後	30	2		○		○		○			○
○			う蝕予防処置論	う蝕予防処置に必要な知識と技術を習得し理解する。	2前	15	1		○		○		○			○
○			歯周病予防処置論	歯周病予防処置に必要な知識と技術を習得し理解する。	2後	15	1		○		○		○			○
○			歯科保健指導論Ⅰ	口腔の衛生を維持管理し、患者の口腔に対する保健意識の向上に関わる知識、技術を理解する。	1前	30	2		○		○		○			○
○			歯科保健指導論Ⅱ	口腔の衛生を維持管理し、患者の口腔に対する保健意識の向上に関わる知識、技術を理解する。	1後	30	2		○		○		○			○
○			歯科保健指導論Ⅲ	口腔の衛生を維持管理し、患者の口腔に対する保健意識の向上に関わる知識、技術を理解する。	2前	30	2		○		○		○			○
○			歯科保健指導論Ⅳ	口腔の衛生を維持管理し、患者の口腔に対する保健意識の向上に関わる知識、技術を理解する。	2後	30	2		○		○		○			○
○			栄養指導	栄養素の基礎やヒトの体内での代謝など生命維持に必要な栄養摂取と口腔疾患との関係を学ぶ。	1後	15	1	○			○			○		○
○			歯科診療補助論Ⅰ	診療の流れに即した補助に必要な知識を習得する。	1前	15	1		○		○		○			○
○			歯科診療補助論Ⅱ	診療の流れに即した補助に必要な知識を習得する。	1前	30	2		○		○		○			○
○			歯科診療補助論Ⅲ	主要歯科材料の取り扱い方について学び、技術を習得する。	1後	30	2		○		○		○			○
○			歯科診療補助論Ⅳ	各術式に必要な歯科診療器材について学び、術式に則した診療補助の知識を習熟する。	1後	15	1		○		○		○			○
○			歯科診療補助論Ⅴ	各術式に必要な歯科診療器材について学び、術式に則した診療補助の知識を習熟する。	2前	15	1		○		○		○			○

○			歯科診療補助論Ⅵ	各術式に必要な歯科診療器材について学び、術式に則した診療補助の知識を習熟する。	2前	30	2		○		○		○			○
○			歯科診療補助論Ⅶ	各術式に必要な歯科診療器材について学び、術式に則した診療補助の知識を習熟する。	2後	15	1		○		○		○			○
○			歯科診療補助論Ⅷ	各術式に必要な歯科診療器材について学び、術式に則した診療補助の知識を習熟する。	2後	30	2		○		○		○			○
○			歯科材料学	歯科材料の開発や高度先進医療の普及の社会的背景を知り、それらを取り扱うに必要な知識を習得する。	1前	15	1	○			○			○		
○			歯科放射線学	放射線の基本知識とエックス線撮影に際しての診療補助について理解する	2前	15	1	○			○			○		○
○			臨床検査	各種検査の方法とその結果から得られる情報について理解する	2後	15	1	○			○			○		○
○			臨地・臨床実習Ⅰ	歯科医療の現場で、担当指導員のもと見学や実習を行い、実践力を身につける。	1後	135	3			○		○		○	○	○
○			臨地・臨床実習Ⅱ	歯科医療の現場で、担当指導員のもと見学や実習を行い、実践力を身につける。	2前	135	3			○		○		○	○	○
○			臨地・臨床実習Ⅲ	歯科医療の現場で、担当指導員のもと見学や実習を行い、実践力を身につける。	2後	225	5			○		○		○	○	○
○			臨地・臨床実習Ⅳ	歯科医療の現場で、担当指導員のもと見学や実習を行い、実践力を身につける。	3前	225	5			○		○		○	○	○
○			臨地・臨床実習Ⅴ	歯科医療の現場で、担当指導員のもと見学や実習を行い、実践力を身につける。	3前	180	4			○		○		○	○	○
○			摂食嚥下機能訓練	摂食嚥下障害について理解し、トレーニング方法を習得する。	3前	15	1	○			○			○		○
	○		口腔ケア・口腔ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ演習	高齢者や障害者に対しての口腔ケアの実践方法を身につける。	2後	15	1		○		○			○		○
	○		スポーツ歯科	スポーツにおける歯と口腔周囲のケガの予防や治療、アスリートの協議能力の維持・向上につながるサポートの知識、手技を習得する。	2後	15	1		○		○			○		○

	○		介護技術演習	医療現場で必要な介護技術の基本の知識、手技の習得を目的とする。	2後	30	2		○		○			○		○
	○		食支援演習	医療現場で必要な介護技術の基本の知識、手技の習得を目的とする。	3前	30	2		○		○			○	○	○
○			ｲﾝﾌﾟﾗﾝﾄｱｼｽﾄ	インプラント治療の概念を理解し、アシストワークに必要な知識・技能を身につける。	3前	15	1		○		○			○		○
	○		審美歯科	審美歯科の知識・技術・心得・カウンセリングについて学ぶ。	2後	15	1	○			○			○		○
	○		MFT	MFTの知識・技術について学ぶ	2後	15	1		○		○			○		○
	○		ホワイトニング演習	ホワイトニングの知識・技術・カウンセリングについて学ぶ	2後	30	2		○		○			○	○	○
	○		歯科補綴学演習	審美歯科補綴について学ぶ	3前	15	1		○		○			○		○
	○		矯正歯科学演習	歯列矯正について学ぶ	3前	15	1		○		○			○		○
		○	国際教育	国際的な感性を身につけることで、相手を理解する気持ちや自分の事を良く知り、主張できる力を身につける。	2前	15	1	○				○	○			○
○			歯科衛生士総合講座	歯科衛生士に必要な知識・技術を総合的に修得する	3後	315	21	○			○		○			○
合計				76　科目	卒業に必要な総時間数						2610単位時間（ 134単位）					
					取得可能な総時間数						2625単位時間（ 135単位）					

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
学年毎に必修単位数を修得したものは進級となる。卒業時までに必要な科目を履修し（2610時間、134単位）、学校長が適当と認めた者は卒業となる。	１学年の学期区分	２期
	１学期の授業期間	１６週